

仙北市の冬まつり

・小正月行事



中里のカンデッコあげ

2月6日、松木内字中里で行われました。
カンデッコと呼ばれる朴の木で作った小型の鍬と、くるみの木で作った男根を一对にし、豊作や縁結び、家内安全などの願いを込めて神木に投げ掛けました。



白岩城址燈火祭

2月11日、白岩平城を主会場に行われました。
中世、近世の白岩の栄華をかがり火の光で再現。幻想的な雰囲気になりました。花火打ち上げ、火振りかまくら、綱引き大会などが行われ、イベントを盛り上げました。

火振りかまくら

2月13日は桜並木駐車場、14日は各町内会場で行われました。
縄を付けた炭俵に火をつけ、自分の周囲を振り回し、無病息災や家内安全などを祈りました。また、稲わらを巻いた、高さ5層の長木に火をつけ、正月のお礼やしめ飾りなどを焼き、1年の無事を祈願しました。



なるか

2月6日、市役所田沢湖庁舎前で行われました。
正月のしめ飾りなどを焼くお焚き上げのほか、稲わらに火を付けて振り回し、害虫を追い払うしぐさをし、五穀豊穣を願いました。



上松木内の紙風船上げ

2月10日、西木町紙風船広場で行われました。
武者絵や美人画のほか、東北復興のメッセージなどが描かれた巨大紙風船が舞い上がりました。
1層ほどの紙風船も多数上がり、冬の夜空を灯しました。



田沢湖高原雪まつり

2月17日から19日まで、たざわ湖スキー場特設会場で行われました。
会場にはコンテストで制作された雪像が並び、火振りかまくら、紙風船上げなどの仙北市の冬のイベントが行われました。18日夜の花火大会も盛大に行われ、会場から大きな拍手と歓声が上がりました。



松葉・相内の裸参り

2月19日、松木内字松葉で行われました。
明治10年とその翌年にこの地域で火災が起こり、度重なる災害から集落を守ろうとしたのが始まりで、ふんどしひとつの若者たちが松木内川に入って身を清め、松葉の金比羅神社に無火災を祈願しました。